



# 人のかたちの埴輪は なぜ創られたのか

平成27年度  
秋季特別展

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館

2015. 10.3 (土) ▶ 11.23 (祝・月)



主催／奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 後援／読売新聞社

写真：茅原大墓古墳出土 盾持埴輪（桜井市教育委員会 提供）

# 人のかたちの埴輪はなぜ創られたのか

『日本書紀』垂仁天皇32年の記事では、皇后日葉酢媛命の葬儀に際して、野見宿禰の提案によって、それまでであった殉葬の風習を止め、人や馬、種々の物を写した土製品で代替したという、埴輪をたてるようになった伝承が書かれています。しかしそれを真実と見ることはできません。

本展では人物埴輪のはじまりについて考えます。円筒埴輪が作られるようになってから約100年後、まず盾を持った姿の埴輪が出現し、次に甲冑を着た武人が登場、その後さまざまな格好の埴輪群像が出そろっていく経緯に、考古学が迫ります。

## 関連イベント

### 研究講座

#### 第1回 10月18日(日)

「最古の人物埴輪と茅原大墓古墳」

福辻 淳 (桜井市教育委員会文化財課 主任)

「人のかたちの埴輪はなぜ創られたのか」

小栗明彦 (橿原考古学研究所附属博物館 主任学芸員)

#### 第2回 11月8日(日)

「人物埴輪に向けられた考古学者のまなざし」

高橋克壽 (花園大学文学部 教授)

「殉葬と形象埴輪起源伝承」

平林章仁 (龍谷大学文学部 教授)

#### 第3回 11月22日(日)

「人物埴輪のいれずみ」

瀬谷今日子 (和歌山県立紀伊風土記の丘 学芸員)

「巫女埴輪と高松塚古墳壁画女子像」

菅谷文則 (橿原考古学研究所附属博物館 館長)

時間：各回とも 13時～16時30分 (12時開場)

会場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂

◎聴講無料、申込不要

### ギャラリートーク 学芸員の30分展示解説

日時：10月17日(土)・11月7日(土)・11月21日(土)

いずれの日も 15時30分～16時

会場：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 特別展示室

◎入場には観覧料金が必要、申込不要

### 展示見どころ解説 関西文化の日協賛企画

学芸員が映像を用いて特別展を分かりやすく解説します。

日時：11月14日(土) 13時～14時 (12時開場)

会場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂

◎聴講無料、申込不要

### 【観覧料金】

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	800円	450円	300円
20名以上の団体	500円	350円	250円

#### 無料となる場合

- ・奈良県内の小・中・高・特別支援学校生が、通学校の教員の引率で入館する場合の生徒および教員。
- ・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所持者および付き添い1名。
- ・未就学児
- ・外国人観光客
- ・関西文化の日(11月14・15日)

### 【開館時間】

9時～17時 (入館は16時30分まで)

### 【休館日】

毎週月曜日・10月13日(火)

ただし会期中の祝日は開館

### 次回展示のお知らせ

特別陳列 **十二支の考古学** —申— 2015年12月19日(土)～2016年1月17日(日)

## (主な登場人物)

### ◀ 盾持埴輪 (茅原大墓古墳)

この展覧会の主人公。皆が注目する最古の人物埴輪。鼻がもげた平たい顔で圧倒的な存在感を放つ。

桜井市教育委員会提供



### ▶ 盾持埴輪 (拜塚古墳)

本邦初お目見えの準主役。リーゼント髪型風の青を愛用する。自慢は耳が大きいこと。

福岡市埋蔵文化財センター提供



### ◀ 武人埴輪 (長原45号墳)

甲冑を着ていかめしく前を見据える兵士。顔のタトゥーがクール。

大阪文化財研究所提供



### ▶ 武人埴輪 (猫追1号墳)

炭坑節のまち九州の田川市が放った刺客。近畿の埴輪たちの人気を脅かす存在。

田川市教育委員会提供



### ◀ 巫女埴輪 (長原87号墳)

袈裟状衣とたすき掛けの服装に、髪型は鳥田まげ。女性埴輪のファッションリーダー。

大阪文化財研究所提供



### ▶ 覘埴輪 (蕃上山古墳)

つば無し帽子をかぶり、和装にたすき掛け。女性顔負けの物腰柔らかなイケメン。

大阪府立近つ飛鳥博物館提供

